

平成27年第1回邑楽町議会定例会議事日程第3号

平成27年3月19日（木曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算
- 第 2 議案第24号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算
- 第 3 議案第25号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第26号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第27号 平成27年度邑楽町下水道事業特別会計予算
- 第 6 議案第28号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計予算
- 第 7 議案第29号 平成27年度邑楽町水道事業会計予算

○出席議員（13名）

1番	塩井早苗	議員	2番	原義裕	議員
3番	松村潤	議員	5番	神谷長平	議員
6番	半田晴	議員	7番	坂井孝次	議員
8番	大野貞夫	議員	9番	田部井健二	議員
10番	小沢泰治	議員	11番	岩崎律夫	議員
12番	小島幸典	議員	13番	立沢稔夫	議員
14番	本間恵治	議員			

○欠席議員（1名）

15番	細谷博之	議員
-----	------	----

---

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
堀井隆	副町長
大竹喜代子	教育長
飯塚勝一	総務課長
橋本喜久雄	企画課長
諸井政行	税務課長
吉田紳二	住民課長
相場利夫	安全安心課長
河内登	健康福祉課長
多田哲夫	子ども支援課長
大拙一	農業振興課長 兼農業委員会 事務局長
半田実	商工振興課長
小島靖	都市建設課長
小島敏晴	会計管理者 兼会計課長
茂木一夫	水道課長
神山均	学校教育課長
半田康幸	生涯学習課長

---

○職務のため議場に出席した者の職氏名

小 倉 章 利	事 務 局 長
田 部 井 春 彦	書 記

---

◎開議の宣告

○本間恵治議長 これより本日の会議を開きます。

議事の日程は、配付のとおりであります。

[午前10時01分 開議]

---

◎日程第1 議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算

○本間恵治議長 日程第1、議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算を議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。予算書では54ページまでです。

質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○本間恵治議長 質疑がないようですので、進行させていただきます。

次に、歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。予算書では55ページから118ページまでとなります。

質疑ありませんか。

神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 2款総務費、6目企画費ですけれども、ページで70ページになりますが、下段のほうに邑楽町協働のまちづくり活動補助金というのがありますけれども、金額200万円ということですが、前年度についても同じ項目で200万円の補助金が計上されて、一切使われていなかったというような経過がございますので、平成27年度につきましては、この200万円計上に当たって何団体ぐらいの予想をした予算という考えなのか、その辺のお尋ねをしたいと思います、たまたま私所管の委員会ですので、恐れ入りますが、町長にお願いをしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 予算200万円については、さきに要綱等の改正もお認めをいただきまして、その手続等についてお認めいただいたわけではありますが、上限が50万円ということになりますと、限度額の申請があった場合は4団体ということになるわけですが、しかし幅広くそういった協働の町づくりを考えていただける団体等には幅広く利用できるような状況がよろしいのではないかという思いもあります、現在のところその申請については、既決をいただいた後に受け付けをするということになりますので、何団体予想しているかということについては、現在のところそのような考え方で進めさせていただきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 そうしますと、場合によればこの予算額も増額になる可能性もあるという解

釈の中でよろしいわけですね。

それと、ぜひこういう形で立ち上げたものですから、ことしはないよと、そういうのがないような形の中で、これらに参加してもらうにはどのようなPRをしていくのか、その辺についてもちょっとお尋ねしたいと思いますけれども。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 申請をしていただく内容も以前と違いまして、それにかかわる職員等も一緒になって進めていくということが、より進めやすいただろうということを考えたときに、やはりその問題は宣伝といいますか、もちろん広報誌ですとか全ての媒体を通してということで考えていきたいわけですが、あわせて来庁された方あるいは区長会、各団体があるわけですが、そういうところにも呼びかけて、できるだけ町づくりに参加をしていただくような体制づくりはとっていきたくて、このように思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ぜひ多くの団体の方に参加してもらえるようにやっていただきたいと思えます。

それと、継続ができるような形でやっていければと思いますので、ぜひそういう形で町づくりに対しての協力体制をとっていただきたいと思えますので、ぜひお願いをしたいと思えます。

以上です。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 次に、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産業費について質疑を行います。予算書では117ページから146ページまでとなります。

質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 ページ数でいきますと119ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、右の120ページに移りまして、28節ですか、繰出金について質問をいたします。

ご承知のように、この中での特に国民健康保険、この問題ですが、今邑楽町の中で国民健康保険税が非常に高いということで、払いたくてもなかなか払えない、こういう中で滞納もかなりの額に上っているわけでございますね。そういう中で、この上からいきますと3つ目の白丸の中で、いわゆる一般会計の繰出金というものがあるわけですが、この金額が前年度に比較しますと平成27年度は773万5,000円と、これが1つは増額になっておるわけですが、やはり今の現状を考えますと、もう少し繰出金も額を多くして、少しでも被保険者の負担を軽くするという観点からすれば、

繰出金をもう少しふやしてもいいのではないかというようなことを思うわけですが、そのこのところの、これは基本的な問題になりますので、できれば町長のほうから一言いただければと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 お答えいたします。

国民健康保険特別会計への繰出金について、特に一般会計からの繰出金の増額というご質問ですが、保険制度は特別会計ということで行っているわけでもありまして、加えて一般会計の場合は、国民健康保険あるいは社会保険制度に加入している多くの方からの税の負担ということを考えますと、逆に一般会計からの繰り出しは、少ないほうがいいのではないかというふうに思っているところでもあります。おかげさまで国保特別会計のほうも、後ほどご審議をいただきますが、税率等の改正も特にしない中でその会計が行われているということもあります。実は、先日も国民健康保険運営協議会の中でご審議をいただきまして、いろいろお認めをいただいたわけではありますが、できればその増額ということよりも、独立採算の考え方で行っていければよろしいのかなと思います。しかし医療制度は、本当にちょっとした疾病等の増減によって大きくその数字が変わってまいりますので、そういう点では現状を見きわめながら、何とか増額というよりも歳出を抑えていければという思いはあります。しかし、時に応じてそういった状況が変われば、やはりその資質に合わせるための支出ということも考えるときもあると思いますが、現状の段階ではこのような形でお認めをいただきたいと、このように思うわけでもあります。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 もちろんこれは特別会計ということになっていますから、一般会計からの繰り入れということは本来なくて、自前の予算の中で解消できればそれが一番いいわけですが、これは別に邑楽町に限らずどこの地方自治体でも不足しているという中で、やむを得ず一般会計からの繰り入れをどこでもこれはやっておるわけです。国のほうも、やはりこういう問題を1つは解消するということなのかもしれませんが、ご承知のように制度改正ということで、これを今までは各自治体が自前で独自に徴収率も決めて徴収をしていたわけですが、2018年ですか、3年後ですか、国が都道府県化にするということを進めようとしておるわけですね。これは、いろいろ論議を呼ぶところでありまして、今でも非常に高いと言われている保険料が、これをやることによってむしろもっと加速をするのではないかという指摘をされている面もあります。もちろんこれは先の話になりますから、今どうこうということではないのですけれども、現実にはやはりこの中で今邑楽町、これは私の資料でいきますと、町のほうで出してある報告書によりますと、これは平成25年度ということでもっと古いので申しわけないのですが、国保の加入世帯というのが約4,580と言われているわけです。被保険者数が8,700、8,800人近いと。実際にこの中でこの人たちの立場というのですか、層は、いわゆる高齢者とか低所得者が非常に多いわけです。ですから、なかなか払いたくても払えないというような負担を強いられている、こういうのが現状だと思うのです。だから、そう

いう点からすれば一般財源から、もちろん今現在も繰り入れてやっているわけですが、それをなぜふやしてほしいかという点は、こういった理由から、少しでも負担を軽減させるという意味から私は申し上げているのですが、これは例えばこの今の数字からいっても、世帯数でいうと4,580ぐらいになるのですが、人数からいくと今言った8,789人ですか、これを例えば年間1人5,000円保険料を引き下げる。引き下げた場合にはどのくらいお金がかかるかというと、約4,400万円の予算を計上すれば、1人が5,000円引き下げられると、年間。こういう数字が出てくるのではないかと思うのです。これは私の計算ですけれども。ですから、これは今の邑楽町の予算の中で、決して私は払えない額ではないのではないかというふうに思っているのです。ですから、それ何%なるかちょっとあれですけれども、金額にすると5,000円というのは、かなり本人のあれからすると負担率が軽減されるのではないかなということで、こういう提案も含めてお話を申し上げているわけなのですけれども、その辺も一言町長からのお答えをいただいて、お願いしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 1つのご意見としてお伺いしておきたいと思うのですが、先ほども国保特別会計については、県統一での審議が国のレベルでは行われておるようです。平成30年度を目途にということのようでありましてけれども、そういうことを考えたときに一番懸念されるのが、今議員が言われましたように保険料、保険税の、この多くなるか少なくなるかということではありますが、まず少なくなるということは望めないのかなというふうに思います。そうしたときに邑楽町の現在のこの税率では、大変長い間税率改正等も行わない中で経過しておりますので、そういった危惧もあるわけではありますが、いずれにいたしましても、その具体的に被保険者1人当たりというようなお示しもありましたが、これらについては、これからの議論の中で十分進めていく必要もあるのかなと、このように思っておりますので、議員のご意見としてお承りをさせていただきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。予算書では145ページから168ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 次に、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款

予備費について質疑を行います。予算書では167ページから244ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔8番 大野貞夫議員登壇〕

○8番 大野貞夫議員 議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算に対して反対の討論を行います。

安倍内閣になって2年猶予、アベノミクスで景気がよくなると盛んに宣伝されておりますが、実態はどうか。最大の不公平税と言われる消費税が8%に増税になり、円安で物価が上昇し、実質賃金は19カ月連続で減少しています。大企業や富裕層と言われるほんの一握りの人たちだけが潤い、多くの国民は今大変な思いをしています。高齢者の命綱とも言うべき年金は毎年引き下げられ、生活は苦しくなる一方です。安倍首相は、さきの総選挙で医療、介護の充実を図ると公約しながら、やっていることは社会保障の予算をばっさり削って、大企業への法人税減税のばらまきや戦争する国に向けた軍拡予算を強行しようとしています。

さて、そんなとき、今邑楽町の人口は、ことし2月末現在2万7,113人で、13年前と比較すると約3.9%減少しています。今、町にとって最大の課題は少子高齢化対策です。払いたくても払えない国保税や介護保険料の引き下げや減免です。また、住んでよかったと思えるような保育施設の拡充、学童保育の充実、少人数学級、学校給食の無料化、障害児、障害者、難病患者の負担軽減、就学援助の充実、ひとり親家庭への支援などなど、課題は山積しています。今年度の新年度予算を改めてよく見たときに、個々には幾つかの点で評価すべき面もありますが、総体的には国の方針をそのまま踏襲した予算になっています。こうしたときに、自治体が国の悪政を住民の暮らしにそのまま持ち込むのか、あるいは暮らし、福祉、子育てを守る防波堤の役割を果たすのかが問われることになります。

以上のことから、反対を表明して討論を終わります。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

岩崎律夫議員。

〔11番 岩崎律夫議員登壇〕

○11番 岩崎律夫議員 議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算に対する賛成討論を行います。

国の「平成27年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によりますと、我が国の経済は、

緊急経済対策などの政策の推進や政労使の取り組みにより、雇用、所得環境が引き続き改善し、好循環がさらに進展するとともに、交易条件も改善する中で、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれています。

このような状況を受けて、本町における平成27年度の予算規模は、一般会計で87億5,300万円、前年度に比べ6.4%増の積極的予算となっており、特に投資的経費が17億3,379万円、前年度に比べ5億2,800円、27.8%の増額となっております。

主な事業として、町道整備では都市計画道路の幹線19号線を平成27年度中の開通に向け事業を推進され、引き続き幹線5号線、18号線の整備、さらに鞍掛第三工業団地と国道354号を結ぶ町道16-13号線の整備に取り組む予算が計上されております。

民生費関係では、高島幼稚園の改築事業に続き北保育園改築事業に取り組まれます。また、教育費関係では、懸案であった中野小学校プール改築事業、邑楽中学校の耐震改築事業、スポーツ・レクリエーション広場の人工芝化の事業などが予算計上されております。

以上のような投資的事業が予定されていますが、一方ソフト事業として、少子化対策としまして、保育園、幼稚園の保育料を18歳までの子供のいる家庭の第2子は2分の1減額、第3子以降は無料とするさまざまな多子軽減策を盛り込んでいます。

以上のように、来年度はさまざまな新規事業に取り組まれておりますが、今後も国、県の各種補助制度を有効に活用し、特定財源の確保に努め、町民の福祉を守り、また安心安全はもとより、安心して子育てができ、邑楽町で暮らす喜びが実感できる町政を強く要望しまして、賛成討論とさせていただきます。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第23号 平成27年度邑楽町一般会計予算について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第2 議案第24号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算

○本間恵治議長 日程第2、議案第24号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

神谷長平議員。

〔5番 神谷長平議員登壇〕

○5番 神谷長平議員 議案第24号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算について賛成討論を行います。

国民健康保険は、被保険者の病気やけがなどに関し必要な保険給付を行う医療制度で、国民皆保険制度の基本的な役割を果たしており、地域医療の確保や住民の健康維持に大きく貢献しております。平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算総額は、前年度に比べ5億3,354万8,000円増額の35億9,164万9,000円です。現在の国民健康保険加入者は人口の3分の1を占めており、加入世帯にあっては、全体の約半分の世帯が加入しております。高齢者や低所得者の加入割合が高いことや高齢化の急速な進展や医療技術の高度化に伴い医療費の増加が続いており、国民健康保険財政は、依然として厳しい状況にあります。

そのような状況の中で、特定健診や特定保健指導などの医療の削減に向けた保健事業の充実や健康増進対策などに努力するとともに、国保税の適正な賦課徴収に努められ、一層の国保財政の健全化を図るよう期待して、本予算に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第24号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第3 議案第25号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算

○本間恵治議長 日程第3、議案第25号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第25号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第4 議案第26号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計予算

○本間恵治議長 日程第4、議案第26号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

半田晴議員。

〔6番 半田 晴議員登壇〕

○6番 半田 晴議員 議案第26号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

平成27年度の邑楽町介護保険特別会計予算の総額は18億1,504万3,000円となり、初めて18億円を超えて、前年度に比べ4,329万9,000円、率にしまして2.44%の増となっています。高齢者数の増加とともに、介護保険認定者数、介護サービス利用者数とともに増加し、介護サービス給付費は毎年増加しています。

また、4月から始まる第6期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画においては、大幅な制度改正も行われる予定であります。これら変化に的確に対応できるよう体制整備に努めることはもとより、高齢者の方が住みなれた地域で自立し、生活を安定して送れるよう介護予防事業、また地域包括ケアシステムの構築に向け、今後もしっかりと取り組むことを要望し、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第26号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第5 議案第27号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計予算

○本間恵治議長 日程第5、議案第27号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

塩井早苗議員。

〔1番 塩井早苗議員登壇〕

○1番 塩井早苗議員 議案第27号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計予算について賛成討論を行います。

公共下水道の整備も順調に進み、新たに2ヘクタールの供用開始区域の拡大を図り、159ヘクタールとする予定であり、関係者の協力のもと排水設備接続も順調に進められております。

本年度の予算総額は2億8,503万6,000円で、前年度に比べ6.8%の減となっております。歳入については繰入金を減額し、歳出については経費の削減を図り、効率的な事業執行に努めていると認められます。

厳しい財政状況の中ではありますが、さらなる創意工夫を重ね、経費削減を図り、面的整備においても効率的な事業推進を図るよう期待しております。

また、施行に際しては説明会を開催し、受益者のご理解、ご協力をいただき、さらに効率的な事業執行に努めるよう要望し、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第27号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第27号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第6 議案第28号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計予算

○本間恵治議長 日程第6、議案第28号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

松村潤議員。

〔3番 松村 潤議員登壇〕

○3番 松村 潤議員 議案第28号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計予算についての賛成討論を行います。

学校給食センターは、平成23年8月より稼働し、衛生管理にすぐれ、学校給食安全基準を満たした施設として整備されています。平成27年度の邑楽町学校給食事業特別会計予算総額は2億4,562万3,000円が計上され、そのうちおよそ1億2,000万円は保護者の皆さんから大切な給食費としてお預かりするものであり、保護者の気持ちがかもったものであります。ぜひこのことを忘れることなく、園児、児童生徒のみならず、保護者の期待する安全・安心でおいしい給食を常に子供たちに提供されるよう、引き続き事業執行に当たられることを要望します。

学校給食センターは、多くの関係者に協力をいただきながら、毎日およそ2,800食の給食を順調に配食していますが、厳しい財政状況の中、今後も効率的な事業運営を推進されるよう期待して、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第28号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第7 議案第29号 平成27年度邑楽町水道事業会計予算

○本間恵治議長 日程第7、議案第29号 平成27年度邑楽町水道事業会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

原義裕議員。

〔2番 原 義裕議員登壇〕

○2番 原 義裕議員 議案第29号 平成27年度邑楽町水道事業会計予算について賛成討論を行います。

水道事業は、安全な水を常に安定して供給するとともに、町民の健康や生活に直接かかわる重要な事業であります。

収益的収支においては、給水人口の減少や生活形態の変動等により、水需要は年々減少している中、1,101万円ほどの利益を計上していることは、経営努力がうかがえます。

資本的収支においては、石綿管の改修工事や配水管布設工事及び浄水場建設更新工事に取り組んだ結果、不足額が生じ、留保資金等により補填を行っておりますが、これは効率的投資に努めた結果と認められます。

厳しい経営環境の中ではありますが、効率的な事業執行や経費の削減に努め、安定経営に向けてさらなる努力をするよう要望し、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第29号 平成27年度邑楽町水道事業会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎散会の宣告

○本間恵治議長 以上で本日の日程は終了しました。

あす20日は午前10時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

大変お疲れさまでした。

〔午前10時42分 散会〕